

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	15101	授業題目	美術科教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月3
担当教員名	上野行一			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8399			担当教員E-Mail	ueno@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	幼児の発生的造形から市民教育としての美術教育(美術館教育)まで、美術教育の現代的意義や課題を、社会の変化と美術の変容、そして教育をめぐる様々な問題を等を視点として考察する。						
授業計画	第1時:講義内容と院生の研究内容の調整 第2~7時:課題に沿った講義およびディスカッション 第8時:中間まとめ(院生による発表) 第9~14時:課題に沿った講義およびディスカッション 第15時:まとめ						
達成目標(達成水準)	・講義内容に沿った課題解決ができるようにする。・研究内容を論文形式にまとめ発表ができるようにする。						
授業時間外の学習	講義内容に沿った資料調査・講読・分析および論文作成						
教科書・参考書	講義の進行に即して随時指示する。						
成績評価の基準と方法	評価規準:講義への意欲、研究テーマに沿って作成された論文の内容等 評価基準:おおむね優れているものを100点中の70点とし、程度により加減する。						

授業コード	15102	授業題目	美術科教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	木2
担当教員名	上野行一			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8399			担当教員 E-Mail	ueno@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	美術教育に関する問題意識を焦点化し、特定のテーマについて掘り下げ、調査研究、制作研究等を行う。						
授業計画	第1時:院生の研究内容の調整 第2~7時:院生の研究テーマに沿った講義およびディスカッション 第8時:中間まとめ(院生による発表) 第9~14時:院生の研究テーマに沿った講義およびディスカッション 第15時:まとめ						
達成目標(達成水準)	・研究テーマに沿った課題解決ができるようにする。・研究内容を論文形式にまとめ発表ができるようにする。						
授業時間外の学習	研究テーマに沿った資料調査・講読・分析および論文作成						
教科書・参考書	研究テーマに即して随時指示する。						
成績評価の基準と方法	評価規準:講義への意欲、研究テーマに沿って作成された論文の内容等 評価基準:おおむね優れているものを100点中の70点とし、程度により加減する。						

授業コード	15103	授業題目	美術科教育特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金 4
担当教員名	金子宜正			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8422			担当教員 E-Mail	ysms-k@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	今日の美術工芸科教育における基本理念について、著名な教育活動をもとに考察する。我が国及びドイツの造形教育に焦点をあて、教材および指導法について論文の構造に触れながら講義する。						
授業計画	(1)ガイダンス (2)～(8)美術工芸教育における基本的な歴史、実践研究、教育現場に関する講義。(9)～(14)受講生の研究テーマに則した教材開発及び指導法 論文の構造に関する講義(15)まとめ						
達成目標(達成水準)	美術工芸教育に関する実践研究や教材開発、指導法等を通じて、教育の実際についての理解を深め、論理的に考察する能力を養う。						
授業時間外の学習	教育に関する事柄に日頃から関心を持ち、見聞を広めること。						
教科書・参考書	『美術科教育の基礎知識』(建帛社)、学習指導要領解説						
成績評価の基準と方法	出席状況、レポート						

授業コード	15104	授業題目	美術科教育特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 5
担当教員名	金子宜正			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8422			担当教員 E-Mail	ysms-k@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	美術科教育特論Ⅱの内容をふまえ、文献や報告書を使いながら研究を進めるとともに、各自のテーマを発展させるための研究方法を修得する。						
授業計画	(1)ガイダンス 各自の研究テーマについて (2)～(14)調査研究の方法について。教育の研究史にみられる論文等の検討。各自が興味を持つ分野から、対話を通じて研究内容を具体化する。文章の指導を通して研究内容を一層深める。(15)まとめ						
達成目標(達成水準)	研究を進めるために必要な調査研究の方法を理解し、論理的な思考力及び文章力を養う。						
授業時間外の学習	教育に関する事柄に日頃から関心を持ち、見聞を広め、自己の研究テーマについて積極的に考察を深めること。						
教科書・参考書	必要に応じて随時指示する。						
成績評価の基準と方法	出席状況、毎回の授業への研究意欲と準備状況、レポート						

授業コード	15111	授業題目	絵画特別研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金5
担当教員名	土井原 崇浩			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8404			担当教員 E-Mail	Doihara@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	作品制作の基礎となるデッサンの習得。立体感、質感、存在感、空間感を表現し、さらに感性のある美しい作品を目指す。構図法を過去の資料を参考にし、身につける。						
授業計画	<p>第1回:ガイダンス</p> <p>第2回～14回:人体石膏の全身像を木炭紙(全紙)にデッサンする(描法、構図法、人体解剖等の解説と指導を含む)</p> <p>第15回:作品講評</p>						
達成目標(達成水準)	人体石膏デッサンを多角的に追求し、作品を完成させること。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書	授業時に参考になる文献について紹介する。						
成績評価の基準と方法	作品提出=60% 出席率=20% 授業態度=20%						

授業コード	15112	授業題目	絵画特別演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金4
担当教員名	土井原 崇浩			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8404			担当教員 E-Mail	doihara@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	「絵画特別研究 I」の研究を踏まえ、ヨーロッパ絵画における技法と材料の熟知と造形力を身につける。古典技法の羽根ペンと没食子インクによるデッサンも行う。						
授業計画	第1回:ガイダンス 第2回～10回:静物モチーフの油彩画を制作(技法と材料等の解説と指導を含む) 第11回～14回:羽根ペンと没食子インクによるデッサン(技法と材料、歴史的背景等の解説と指導を含む) 第15回:作品講評						
達成目標(達成水準)	油彩画の応用的技法と材料を習得し、作品を完成させること。羽根ペンとインクによるデッサンを習得し、作品を完成させること。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書	授業時に参考になる文献について紹介する。						
成績評価の基準と方法	作品提出=60% 出席率=20% 授業態度=20%						

授業コード	15113	授業題目	絵画特別研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金 5
担当教員名	別府 道雄			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8402			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	主として日本及び東洋に伝わる絵画制作の伝統の上に立ち、諸技法の習得と用具、用材の理解に努め、新しい絵画表現の開拓を追求する。						
授業計画	制作を自由制作として実施する。構想とモチーフの設定、取材と資料収集、小下図から大下図への作成、画材調達、本制作へと進めていく。						
達成目標(達成水準)	院生として制作を通して十分に研究し得たかを経過と結果からみていきたい。						
授業時間外の学習	内容のある展覧会の鑑賞等						
教科書・参考書	興味ある作家の作品集等						
成績評価の基準と方法	取り組み姿勢、出席状況、提出物等により総合的に判断する。						

授業コード	15114	授業題目	絵画特別演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 4
担当教員名	別府 道雄			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8402			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	「絵画特別研究Ⅱ」での研究を踏まえ、制作を中心にその応用と展開をはかる。						
授業計画	自由制作をさらにおし進める。遂行の段取りは「絵画特別研究Ⅱ」と同じ。						
達成目標(達成水準)	修了制作の前段階としての内容と意気込みはどうかという観点からみていきたい。						
授業時間外の学習	内容のある展覧会の鑑賞等						
教科書・参考書	興味ある作家の作品集等						
成績評価の基準と方法	取り組み姿勢、出席状況、提出物により総合的に判断する。						

授業コード	15132	授業題目	デザイン特別演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	迫田幸雄(非常勤講師)			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	プロダクトデザインについて考察する。						
授業計画							
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	15141	授業題目	工芸特別研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	月 3
担当教員名	石川充宏			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8405			担当教員 E-Mail	misikawa@cc.koshi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	金属工芸の技法(鋳金、鍛金、彫金)と特性を講義し、日本の金属工芸作品を研究する。						
授業計画	鋳金、鍛金、彫金の各技法を講義によって解説し、学生自身が制作することを念頭にしたプランを作出して計画する。						
達成目標(達成水準)	金属工芸作品を通して自己の感性を磨くことを目標とする。						
授業時間外の学習	展覧会や書籍などで工芸作品を研究する。						
教科書・参考書	「鍛金の実際」美術出版社、「金属の工作工芸」開隆堂						
成績評価の基準と方法	出席状況と制作プランの提出により、総合的に評価する。						

授業コード	15142	授業題目	工芸特別演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	月 4
担当教員名	石川充宏			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8405			担当教員 E-Mail	misikawa@cc.koshi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	「工芸特別研究 I」の研究をふまえ、学生の研究テーマに沿った金属工芸の作品を研究し、制作を通して考察する。						
授業計画	「工芸特別研究 I」の制作プランを実行に移す。						
達成目標(達成水準)	金属工芸の道具や工具を扱う技術の習得と、金属の特性を制作を通して学ぶことを目標とする。						
授業時間外の学習	展覧会や書籍などで工芸作品を研究する。						
教科書・参考書	「鍛金の実際」美術出版社、「金属の工作工芸」開隆堂						
成績評価の基準と方法	出席状況、制作記録レポート、作品提出により、総合的に評価する。						

授業コード	15143	授業題目	工芸特別研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火4
担当教員名	吉光 誠之			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8406			担当教員 E-Mail	yosimitu@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	木材工芸の諸領域(指物、割物、挽物等)の各技法、研究、ならびに日本文化における「木」をキーワードとした研究を行う。						
授業計画	制作を通し、毎週上記の各諸領域についてそれぞれ研究を行う。						
達成目標(達成水準)	上記の各諸領域を一通り制作してみる。						
授業時間外の学習	特になし。						
教科書・参考書	必要なし。						
成績評価の基準と方法	出席及び作品評価。						

授業コード	15144	授業題目	工芸特別演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火5
担当教員名	吉光 誠之			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8406			担当教員 E-Mail	yosimitu@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	「工芸特別研究Ⅱ」をふまえ、作品を制作する事等でさらに研究を深める。						
授業計画	制作を通し、毎週木材工芸の諸領域についてそれぞれ研究を行う。						
達成目標(達成水準)	上記の各諸領域を一通り制作してみる。						
授業時間外の学習	特になし。						
教科書・参考書	必要なし。						
成績評価の基準と方法	出席及び作品評価。						

授業コード	15151	授業題目	西洋美術史特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金3
担当教員名	駒田亜紀子			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8403			担当教員E-Mail	rameau@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	美術史研究における主要な方法論(技法論、様式論、図像学、その他)について学び、対象となる美術作品に適した問題設定の仕方を研究する。						
授業計画	1)自身のこれまでの研究活動の総括、2)技法論について、3)様式論について、4)図像学について						
達成目標(達成水準)	西洋美術の歴史的展開の理解。特に、地域・時代ごとに異なる作品の技法ならびに様式的特徴を的確に捉える能力を養う。						
授業時間外の学習	積極的に美術館・博物館・展覧会等を見学し、講義で直接取り上げる分野以外の作品にも広く注意を払うこと。普段から図書館等で美術書を閲覧し、様々な地域・時代の美術動向に関心を持つこと。						
教科書・参考書	特に指定しない。						
成績評価の基準と方法	出席と平常点(講義中の質疑応答、口頭発言など)7割、期末のレポート評価3割。						

授業コード	15152	授業題目	西洋美術史特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金5
担当教員名	駒田亜紀子			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8403			担当教員E-Mail	rameau@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	各学生の専門分野に関連の深い西洋美術史上の作品を取り上げ、作品の様式、図像ならびに技法上の特質や、同時代の関連作品との比較を通じて、作品の美術史上の位置づけについて考察する。						
授業計画	1) 作品の様式分析ならびに比較について、2) 作品の技法分析ならびに比較について、3) 作品の図像分析ならびに比較について、4) 作品記述(ディスクリプション)演習、5) 作品分析・比較演習						
達成目標(達成水準)	任意の美術作品の制作技法、様式、図像などについて、作品が制作された地域・時代の特質を踏まえた的確な分析を行う能力を養う。また、各作品の特質をよりの確に把握するために有効な作品比較を行う能力を高める。						
授業時間外の学習	積極的に美術館・博物館・展覧会等を見学し、演習で直接取り上げる分野以外の作品にも広く注意を払うこと。普段から図書館等で美術書を閲覧し、様々な時代・地域の美術動向に関心を持つこと。						
教科書・参考書	特に指定しない。						
成績評価の基準と方法	出席と平常点(演習中の質疑応答、口頭発表など)7割、期末のレポート評価3割。						

授業コード		授業題目	美術科教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	水 1(上野) 木4(金子)
担当教員名	上野行一・金子宜正			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8399(上野) 844-8422(金子)			担当教員 E-Mail	ueno@kochi-u.ac.jp (上野) ysms-k@cc.kochi-u.ac.jp (金子)		
授業テーマと目的	美術科教育に関する附属校園等での授業研究を基に、美術教育の分野としての、絵画、彫刻、デザイン、工作・工芸、鑑賞の教材、指導法について、理論的に研究することを指導する。						
授業計画	(1)研究の進め方について、研究計画 (2)研究テーマの理解と究明すべき点の明確化 (3)~(15) 附属校園との打ち合わせ、附属校園における研究授業実施、理論的な研究の方法について、報告書の作成(文章及び論文構成等)に関する指導						
達成目標(達成水準)	自分の研究テーマを十分に理解し、研究授業(実践研究)の分析を通して、論理的に結論を導き出すことを目標とする。						
授業時間外の学習	附属校園で行う研究授業のための準備(道具、材料等の準備を含む)、研究テーマに関する先行研究の調査等						
教科書・参考書	研究内容に応じて参考資料、文献等を紹介する。						
成績評価の基準と方法	出席状況、研究授業のための準備及び計画状況、報告書の内容						

授業コード		授業題目	美術科教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	月2(石川) 火5(別府) 月2(吉光) 火2(駒田) 月5(土井原)
担当教員名	石川充宏・別府道雄・吉光誠之・駒田亜紀子・土井原崇浩			担当教員所属	美術教育専修		
担当教員電話	844-8405(石川) 844-8402(別府) 844-8406(吉光) 844-8403(駒田) 844-8404(土井原)			担当教員 E-Mail	misikawa@cc.koshi-u.ac.jp (石川) yosimitu@cc.kochi-u.ac.jp (吉光) rameau@kochi-u.ac.jp (駒田) doihara@cc.kochi-u.ac.jp (土井原)		
授業テーマと目的	<p>石川：美術科教育に関する附属校園等での授業の観察・記録・参加を基に、美術科教育の分野としての工作・工芸の教材開発について、実証的に研究することを目的とする。</p> <p>別府：院生自身が授業のテーマを設定し、それに基づいた適格な準備をして、内容ある授業を展開することを目的とする。</p> <p>吉光：附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発等の実習計画案作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。</p> <p>駒田：附属校園における授業実践を通じて、美術作品とそれを生み出した歴史・社会・文化的な背景等との関わりを総合的に考えながら、美術鑑賞・表現の指導法を研究することを指導する。</p> <p>土井原：美術科教育に関する附属校園等での授業研究を基に、美術教育の分野としての、西洋画の教材開発について、実証的に研究することを目的とする。</p>						
授業計画	<p>石川：各自が研究テーマを設定し、附属校園等で観察・記録・参加をした上で、研究の成果をレポートにする。</p> <p>別府：院生自身が実施計画等々を作成し、それに対して助言指導を行う。</p> <p>吉光：実習校との協議の上、具体的な授業計画を作成する。</p> <p>駒田：1)生徒の発達段階に応じた美術鑑賞の方法について、2)美術作品の素材・技法と表現との関連について、3)生徒の発達段階に応じた作品講評の方法について。</p> <p>土井原：各自が研究テーマを設定し、授業計画書を作成。実習校の授業実施後に、研究の成果をレポートにする。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>石川：各自の研究テーマに沿って、実証的な研究をするを目標とする。</p> <p>別府：教育者として、授業を通して生徒に対し、十分な理解と満足を与えることが出来たかを経過と結果からみていきたい。</p> <p>吉光：高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力の育成。</p> <p>駒田：鑑賞や表現にとって有効な指針となり、総合的な学力の向上にも寄与するような、美術史的分析手法を、教育現場に適用する能力を獲得する。</p> <p>土井原：各自の研究テーマに沿って、実証的な研究をするを目標とする。</p>						
授業時間外の学習	<p>石川：附属校園等での授業観察。</p> <p>別府：特に求めない。</p> <p>吉光：特になし。</p> <p>駒田：積極的に美術館・博物館・展覧会等を見学し、様々な地域・時代的背景を持った作品に広く注意を払うこと。普段から図書館やマルチメディアなどで美術情報を収集し、教材研究に役立てること。</p> <p>土井原：特になし。</p>						
教科書・参考書	<p>石川：特に設定しないが、研究テーマに沿って各自が選択する。</p> <p>別府：美術教育に関する文献等</p> <p>吉光：必要なし。</p> <p>駒田：特に指定しない。</p> <p>土井原：特になし。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>石川：附属校園等での研究とレポートの提出により、総合的に評価する。</p> <p>別府：取り組み姿勢、出席状況、提出物等により総合的に判断する。</p> <p>吉光：出席及び報告書を評価する。</p> <p>駒田：平常点(授業実践のための準備)5割、実践評価5割。</p> <p>土井原：出席率と研究成果のレポート提出。</p>						

授業コード		授業題目	美術科教育実践研究 I (長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限
担当教員名	上野・金子・石川・別府・吉光・駒田・土井原			担当教員所属	美術教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。					
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。					
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。					
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	美術科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限
担当教員名	上野・金子・石川・別府・吉光・駒田・土井原			担当教員所属	美術教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。					
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。					
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。					
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	課題研究(美術)		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1, 2学期	曜日・時限
担当教員名	上野行一・石川充宏・別府道雄			担当教員所属	美術教育専修	
担当教員電話	844-8399(上野) 844-8405(石川) 844-8402(別府)			担当教員 E-Mail	ueno@kochi-u.ac.jp (上野) misikawa@cc.koshi-u.ac.jp (石川)	
授業テーマと目的	<p>上野: 各自の継続的な研究テーマを設定し、研究計画、資料の収集および分析の諸活動を通して、研究の方法を指導し、修士論文へと発展させていくよう指導する。</p> <p>石川: 各自の継続的研究課題を設定し、研究計画・資料の収集および分析等の諸活動を通して、研究の方法を指導し、修士論文へと発展することを目的とする。</p> <p>別府: 院生としての2年間の成果を出すべく、豊かな絵画表現の達成と精緻な論考の展開を旨とする。</p>					
授業計画	<p>上野: 第1~3時: 研究計画 第4~14時: 研究テーマに沿った論文指導 第15時: 中間まとめ 第16~17時: 研究計画修正 第18~29時: 論文指導 第30時: 論文発表</p> <p>石川: 実践研究Ⅰ・Ⅱで研究したことに加え、各自のテーマに沿った研究を継続的に推進し、修士論文へ発展させる。さらに制作を通して研究の幅を広げることが望ましい。</p> <p>別府: 制作は自由制作として実施する。構想とモチーフの設定、取材と資料収集、下図の作成、本制作へと押し進めていく。同時にここでの内容をテーマとして論文化し、適格に文言であとづけていく。</p>					
達成目標(達成水準)	<p>上野: ・研究テーマに沿った資料の収集・分析等の課題解決ができるようにする。 ・研究内容を論文形式にまとめ発表ができるようにする。</p> <p>石川: 上記「授業計画」を達成目標とする。</p> <p>別府: 客観的にみて修了制作、修了論文としてそれに価する成果を得られたか否かをみたい。</p>					
授業時間外の学習	<p>上野: 研究テーマに沿った資料調査・講読・分析および論文作成 各種研究会等への参加</p> <p>石川: 各自のテーマに沿った研究を継続的に進める。</p> <p>別府: 特に求めない。</p>					
教科書・参考書	<p>上野: 研究テーマに即して随時指示する。</p> <p>石川: 特に設定しないが、研究テーマに沿って各自が選択する。</p> <p>別府: 特に求めない。</p>					
成績評価の基準と方法	<p>上野: 評価規準: 研究テーマに沿って作成された論文の内容 評価基準: おおむね優れているものを100点中の70点とし、程度により加減する。</p> <p>石川: 出席状況と研究状況を総合的に評価する。</p> <p>別府: 取り組み姿勢、出席状況、そして制作と論考の成果から総合的に判断する。</p>					